

# 小学校体育に関する教師の体育観についての調査研究

－中・高の保健体育免許の有無に着目して－

阿部 竜己 ( 金沢大学 )

## 1. 目的

本研究の目的は、小学校教師が体育に対してどのような考え方を持っているのかという体育観を明らかにすることである。そして、それが中・高の保健体育の教員免許の有無によって差異があるか否かについて明らかにすることである。保健体育の教員免許の有無に着目するのは、教員免許が保健体育に関する知識を保障していると考えられるからであり、また、それが小学校体育に対する考え方に影響を及ぼすと考えるからである。

## 2. 研究方法

- 1) 対象者：K市内の小学校教師 11 名（中・高保健体育免許有：5 人 無：6 人）
- 2) 調査方法：体育授業づくり等に関するインタビュー。1 人当たり約 20 分～30 分
- 3) 分析方法：教師の発言内容から体育観を抽出し、それが保健体育教員免許の有無によってどのような違いがあるのかを考察した。

## 3. 結果と考察

- 1) それぞれの教師の体育観を詳しく見て比較する事で、傾向や特徴など見られる部分もあったが、体育観はそれぞれの教師に特有のもので様々だという事が言える。
- 2) 中・高保健体育免許の有無では 11 個の質問項目で違いや傾向が見られた。免許の有無による違いや傾向が見られたカテゴリーは「授業計画」「実際の授業」「授業づくりを支えるもの」「体育に対する考え方」の 4 つである。
- 3) 「授業計画」では、授業計画を立てる際に参考にしているもの、授業計画の立てにくい種目・領域、授業計画を立てる際にど

れくらい運動量を確保しようと考えているかについて違いが見られた。「実際の授業」では、声掛け、集合、授業を行いやすい・行にくい種目・領域、技術指導で困難なこと、困難だと感じることを克服するためにしていること、についての違いが見られた。

「授業づくりを支えるもの」では、体育の研究会への参加の有無、体育について学ぶためにしていることについて違いが見られた。「体育に対する考え方」では、体育という教科をどのように捉えているか、体育は子どもにとってどうあるべきだと考えるかについて違いが見られた。

## 4. 結論

体育観はそれぞれの教師に特有のもので、他の教師と比較しても全く同じという事はなく、1 人 1 人考え方が違って様々だという事が分かった。他方で、保健体育の教員免許の有無の観点から、それぞれの教師の体育観を比較する事で、共通する傾向の部分と差異のある部分があることが明らかになった。

## 5. 主な参考文献

- 1) 加登本仁、辻延浩、青木作衛、中川大介、八木純子、体育授業に関する小学校教師の力量形成についての調査研究—教職経験年数による差異に着目して—, 滋賀大学教育学部紀要教育科学, 62, pp.73-85, 2012
- 2) 宮尾夏姫、三木ひろみ、小学校教師の体育授業実践に対する支援の検討—実践状況と指導上の困難さに着目して—, びわこ成蹊スポーツ大学研究紀要, 12, pp.37-47, 2015